

平成25年度病害虫発生予察注意報第5号

平成25年10月31日
愛 知 県

作物名：ナス（施設）

病害虫名：ミナミキイロアザミウマ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

10月下旬に実施した巡回調査の結果、ナスにおけるミナミキイロアザミウマの寄生葉率が13.1%（平年4.3%、昨年7.4%）、発生ほ場率が83.3%（平年48.7%、昨年66.7%）で、いずれも過去10年と比較して最も高かった。

4 防除上注意すべき事項

- （1）青色の粘着板などを利用して本種の発生状況をよく観察し、早期発見に努める。
- （2）発生を認めたら、下表を参考に早期に防除を行う。
- （3）本虫は、薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避ける。
- （4）天敵や訪花昆虫を導入しているほ場では、それらへの影響に注意して薬剤を選定する。

表 ナスのミナミキイロアザミウマに対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	収穫前日数 /使用回数	系統
カスケード乳剤	2000～4000倍	前日/4回	A
コテツフロアブル	2000倍	前日/4回	B
プレオフロアブル	1000倍	前日/4回	C
アグリメック	500～1000倍	前日/3回	D
モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍	前日/3回	E
アフーム乳剤	2000倍	前日/2回	D
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	前日/2回	E
ハチハチフロアブル	1000倍	前日/2回	F
ボタニガード水和剤	1000倍	発生初期/ー	G

注）系統：A：脱皮阻害剤、B：ピロール、C：プロペニルオキシフェニル、D：マクロライド、

E：ネオニコチノイド、F：フェノキシベンジルアミド、G：微生物農薬

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話：0561-62-0085 内線471